



困難な分大きな達成感を味わうことができる。それを浜館店のスタッフに経験してほしいのだ。

そのために白戸が重視しているのが、リピーターを増やすこと、スタッフが楽しんで仕事をするこゝである。店を訪れてくれたお客様にもう一度来たいと思ってもらうためには、「いいお店だな」と思ってもらわなければならない。これには、豊富な品揃えと良い接客が求められる。

「皆が楽しんで働くことができればいい接客に繋がります。そうして売り上げが増えれば、店の環境や商品のラインナップも充実し、スタッフにも還元されるでしょう。」

こうした好循環を生むことで、お客様にもスタッフにも満足してもらえ、素晴らしい店舗になることを目指している。全員が一体感を持って日々の仕事に向かうことができれば、決して不可能ではないと白戸は考えている。

新しいものへの挑戦

浜館店では、中古品販売とは異なる新しい分野にも挑戦を進めている。2017年8月から、店の前でホットドッグとタコスの販売を始めたのだ。それ以前にもテナントが入って飲食物を販売していたが、店主が年齢を理由に引退。それを聞きつけた白戸が交渉をして、浜館店でそれらの設備を譲り受けたのである。

「仕入れ先もわからなければ、作り方も値段の決め方もわからないところからスタートしました。」

当初は近くのスーパーから食材を購入して、インターネットで作成方を調べていたという。調理の道具はそろっていたものの、原材料費や人件費の計算も飲食では初めてのこと。どれくらい売れるのかも、いくらずで販売すれば利益が出るのかも予測不能だった。まだまだ苦労は絶えないが、何よりも、新しい

ことに挑戦できるのが楽しいのだという。

「どんどん新しいことをやっているという社風なので、とても感謝しています。スタッフの皆さんにもそういう気持ちになってもうえればいいと思います。」

まだ宣伝も正式にはしていないので、来店したお客様が気づいて購入していく程度だが、今後はメニューの拡張や店との連携を考えて売り上げを伸ばしていきたいという。

これからの展望

今では店長を務めているが、最初は役職が欲しいとか店長になりたいとは思っていなかった。仕事を続ける中で良いスタッフたちに出会い、彼らが働きやすい環境を作るためのマネジメントの大切さに、徐々に気づいていったのだ。これからもその思いを忘れずに、仕事に邁進していくつもりだ。

浜館店では2017年9月に第14期の利益が確定し、満足のいく結果が残せた。しかし、それに安心してはられない。第15期はそれを上回る成果を出さなければならぬと、今から意気込んでいる。

「第14期の結果が良かったのは、



白戸 清健

萬屋 浜館店 店長

2006年(平成18年)9月にドラゴンキユーブへ入社した白戸清健。子どもの頃から人を笑わせるのが好きで、仕事でもその長所をいかんなく発揮。現在は、萬屋浜館店の店長として、店舗全体の管理運営を担っている。そんな白戸の仕事への思いに迫った。

責任ある立場として

ドラゴンキユーブへ就職した白戸が最初に配属されたのは、青森東店だった。そこでオープニングスタッフとして5年ほど勤務した後、弘前清水水店へ異動。途中からは副店長を務め、2015年12月に浜館店に異動、翌年2016年3月に店長となった。

「店長は、働いている皆の生活を、言動一つで左右することもある立場です。なので、以前にも増して大きな責任を感じています。」

白戸が店長として目指しているのは、スタッフに月の目標全てを達成させることだ。萬屋では月ごとに、買い取り、売り上げ、利益の3つそれぞれに高めの目標が設定されている。それら全てを同時に達成するのは非常に難しい。自分でさえ以前勤めていた弘前清水水店で一度経験しただけである。だが、

店舗内に一体感が生まれてきた証ではないでしょうか。お客様が喜ぶ姿や、買い取った商品が売れていく様子を見て、次も頑張っていきたいです。」

浜館店は、数ある萬屋の中でも一番古く、小さい部類に入るが、白戸はそれを弱点とは考えていない。古くから運営している伝統を残しつつ、小さい店舗だからこそ新しいことにスピーディーに挑戦できると、前向きに捉えているのだ。これからも、そうした良い部分を伸ばし、何にでもチャレンジできる環境を大切にしていきたい。常に現状に満足することなく、高い目標掲げる白戸は、これからも会社のために力を尽くしていくことだろう。



企業情報

- ◆ 設立年 2003年10月
- ◆ 年商 30億円
- ◆ 従業員数 270人

※ 2017年11月時点

部活の思い出

「甲子園出場を目指して毎日白球を追いかけていました!」
「実は、吹奏楽って体力勝負なんです…」
青春時代、あなたはどんなことに打ち込んでいましたか?
今の姿からは想像できない?
学生時代の部活動の思い出、教えてもらいました!

中学校から高校 剣道部

最後の大会で、団体戦3位入賞ができました。そんなに強いチームではなかったのですが、3位になったときは、1位のように喜びました。



大清水 佐藤 健康さん

中学校 陸上部

仲間の親御さん、先生方から応援を褒められました。他の部活にも応援に来て欲しいと頼まれたことさえあります(笑)



大清水 小寺 健成さん

中学校 テニス部

テニスは団体戦もありチームプレーやペア同士の応援などが必要です。部活で学んだことを仕事のチームプレーなどに活かしていきたいです。



八戸城下 岩館 祐也さん

高校 ハンドボール部

高校にはハンドボール部が無かったので同好会を作り、3年間やって部に昇格しました。後輩にハンドボール「部」を残して卒業することができました。



青森東 藤村 泰輔さん

中学校 ソフトボール

夏はどの女子よりも早く、真っ黒に日焼けしていました(笑)当時の同学年のメンバー9人は今でもグループラインで連絡を取り合う、大切な仲間です。



城東 奈良 栄子さん

中学校 ソフトテニス部

全道大会に進めば旅館に泊まれるという動機で、練習に必死になって取り組みました。結果、本当に中体連の大会で優勝することができました!



七重浜 松川 祐樹さん

中学校 バasketボール部

暑さ対策として真夏に窓と扉を全部閉め切った上に、長袖を2枚着て練習していました。もはや漫画の世界です…。



青森東 梅庭 惇さん

高校 水球

3月に外のプールに入って練習した時は、ほんとうに三途の川が見えました。しかし、大会では東北3位になることができました。



盛岡 片方 優介さん

小学校から中学校 剣道部

女子は人数が少なかったのですが、男子と混ぜて練習していました。小6の時に個人で優勝するなど結果を残すことができました。



三沢 二木 忍さん

小学校 手芸クラブ

今でも趣味である手芸ですが、失敗しても「編み物のようにやり直せばいい!」と考えられるようになり、失敗は成功のもとということを学びました。



七重浜 立石 望さん

すごい人アワード

私が一緒に働いている仲間たち、実はこんなすごいところがあるんです!
仕事上のスキルや思考力、仕事に取り組む姿勢、プライベートではあんな特技まで…!?
あなただけが知っている、皆の魅力を表彰しちゃいましょう!隣席のあの人が、「わが社のすごい人」かも!



浜館 平尾 大輔さん

彼のすごいポイント、それは接客です!どんなお客様にも温和な対応で、不愉快な思いをさせない態度、丁寧な説明など、接客の腕はピカイチ。笑顔で帰っていかれるお客様を見て、「私も見習わなくては!」と思います。簡単なことではありません。いつも助けてもらっています。

私が推薦します!



浜館 山内 博樹さん

10月中、ハロウィンイベントということでスタッフが各々コスプレをしていました。そんな中、山内さんはガチの化粧と衣装で他とはレベルの違う、バットマンのジョーカーのコスプレを披露……。さすがみんなの兄貴分!こういったことにも全力で取り組んでいくすごい人だなと感嘆しました。

私が推薦します!



浜館 工藤 ひとみさん



浜館 石井 孝征さん



リユース倉庫 能代谷 俊昭さん

能代谷さんは、他の人のために、自分ができる最大限のサポートをする人です。店舗内改装の際、事前準備を誰に言われた訳でもなく自発的に行ってくれたので、5時間ほどかかる作業が2~3時間で終わりました。思いやりのある方だと思います。

私が推薦します!



大清水 山谷 敏暢さん

古着に関する知識がとにかくすごいです!ある一着の古着を査定している時、そのブランドの相場はもちろん、ブランドの背景まで語ってくれたことがありました。ジャンルに囚われない幅広い知識のある上司に、いつも刺激を受けています。

私が推薦します!



リユース倉庫 大科 渚さん



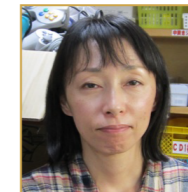
大清水 竹内 亮太さん



青森東 三浦 裕行さん

チラシやポップを作るのが上手です!私が買取チラシの作成で悩んでいた時、三浦さんにアドバイスを頂きました。三浦さんの作るポップは、インパクトがあり、何を伝えたいのかも分かりやすいし、見ていて面白くとてもオシャレです。今後もお手本にさせていただきます!

私が推薦します!



盛岡 奈良 佳代子さん

奈良さんは、どんな時でも頼んだ仕事を150%の力でやってくれます。私のいない時間に売り場に在庫の溜まってきた商品を確認し、相場や近隣店の価格を調べて、金額調整の提案もしてくれます。もはや担当者レベルの仕事です……。部門内だけでなく盛岡店全体から信用されている方です。

私が推薦します!



青森東 藤本 尚也さん



盛岡 齋藤 登志朗さん